



【取材先】焼肉ポタ山



【取材先】平成筑豊鉄道株式会社(7時20分「直方駅」発「行橋駅」行きの列車)



【取材先】ドラッグストアコーエイ(方城店)



【取材先】田川構内タクシー金田営業所

「時間を短縮し、三密対策で7席中4席で営業中の焼肉ポタ山。売上減少と入れ肉ロスの現状を打開するため、開業以来初となるお弁当の販売を決断。4月中旬が平日限定で販売している。

「平成筑豊鉄道で一番利用者が多い朝の出勤登校ラッシュの時の車内。平常時は定員いっぱいのお客様で盛況だが、取材時の乗客数は4人。4月の売り上げは前年比で9割減と見込まれている。

「厳れる需要に供給が追いつかない感染対策の関連商品。特にマスクは当面の間はこの状態が続くとのこと。取材店舗ではマスクや除菌商品を中心に、毎日来客する姿を多く見かけるといいます。

「高齢者の通院や居酒屋への送迎など、待機するタクシーがないほど利用されていたが、3月の売り上げは3割減。「乗客はマスク着用を徹底している」のでぜひ利用を」と呼びかけている。

今こそ、ONE

(特集1) 見えない敵へ立ち向かうために

※この特集は、令和2年4月23日までの情報で作成

TEAM

新型コロナウイルス感染症 Close up! Diseases

発熱・乾いたせき・体のだるさ・呼吸困難・味覚や嗅覚障害などが典型的な症状とされる「新型コロナウイルス感染症」。主な感染経路は、くしゃみ・せき・つばなどの飛まつを吸い込んで感染する「飛沫感染」と、感染者の接触物に触れたあとで目や鼻を触り粘膜から感染する「接触感染」がある。PCR検査で陽性と判断されたら呼吸困難などがない軽症者は対処療法、それよりも症状の重い中等症のかたは酸素投与、最も症状の重いかたは気管内挿管で全身管理を行い治療を行う。より症状が深刻な場合、心臓と肺の機能を果たす「ECMO」が使用される。今回、中国・武漢で発生したコロナウイルスは、今までに確認されていない新型ウイルスのため、有効性が明確に証明された特効薬は現時点で開発されてない。

【世界各国・日本・福岡県の感染状況】

世界の感染者数 ▶ 2,558,526人 (内180,450人死亡)
日本の感染者数 ▶ 11,496人 (内277人死亡)
福岡県の感染者数 ▶ 563人 (内13人死亡)



臨時休校中の小学生約20人を預かる「すずらん保育所学童クラブ」。学習時には3人用机の両端に児童2人が座って全員が正面を向き、遊び道具の使用制限などで「三密」を避けている。また、マスクのない子どもたちのために職員が約40枚の手作りマスクを作って配布するなど、担当者は「感染症対策のため、あらゆる策を講じていきたい」と語る。【取材先】すずらん保育所学童クラブ

世界中で18万人以上の死者を出すなど猛威を振るう「新型コロナウイルス感染症」姿の見えない敵は、医療現場や大都市だけでなく、福智町内での生活にも大きな影響を及ぼしています——

また、医療・保育の現場では、高い感染リスクにさらされながら、まさに「命がけ」で勤務を継続。状況は違えど、それぞれの立場・状況で姿の見えないウイルスと戦っています。幸い福智町内では、まだ感染者は確認されていませんが、感染症の影響で私たちの生活は一変。一日でも早く平穏な毎日を取り戻すためにも、一人ひとりがこの感染症を自分事として捉え、命を守るために向き合う必要があります。

世界を恐怖の底に陥れている「新型コロナウイルス感染症」。その影響は経済・教育・行政など、町内のあらゆる場面へ波及し始めています。特に大きな影響を受けているのは、町内の飲食業や運送業など。平常時と比べて売り上げが激減し、存続が危ぶまれる状況に追い詰められている店舗も少なくありません。

平穏な日々、奪ったウイルスその影響は町内各地でも——

「93歳までの高齢者17人が入所するこの施設は感染症対策で、家族との面会を2月末から制限。入所者と密に接する職員は危機感を持って、外出自粛や「1介助1消毒」を徹底している。



【取材先】認知症対応型共同生活介護グループホームあかいけ

「家庭保育が困難な乳幼児約30人を預かる神崎保育園。三密回避は不可。マスクができない子どもを預かる保育現場は、感染リスクの高い環境命がけです」と職員は不安な心中を吐露する。



【取材先】社会福祉法人 青空会 神崎保育園

「自営店舗の感染が相次ぐ中、福智町役場では感染対策として3割減へ対応。また、感染リスクの高い窓口では、来庁者間の飛沫感染を防止するためのアクリル板を設置している。



【取材先】福智町役場 金田本庁1階

「非常事態宣言が発出され、臨時休校中の町立学校7校、新入生を歓迎するため教室内に施された装飾は、入学して27日後にして2日目の登校となる児童らのために残しているという。



【取材先】福智町立金田義務教育学校(前期課程)

発生国・中国の現状 lose up! China

昨年末に武漢市で新型コロナウイルスが発生してから中国内では、大規模な移動制限やマスクの義務化、各所での検温などの厳格な感染症対策が行われました。発生から約4か月経過した現在の中国はほぼ終息に向かっています。中国で過ごし感じたことは「マスクの着用と人との接触回避の重要性」。感染症から福智町を守るためにも、中国の取り組みを生かしてほしいと思います。

中国に赴任中の福智の住民
香月 謙治さん(弁城)



- Infectious Disease Control
- 1 人との距離を2m以上保つ(極力対面を避ける)
 - 2 風通しをよくする。(こまめな換気も有効)
 - 3 マスクをする(布マスクやハンカチも効果あり)
 - 4 手洗い・アルコール除菌を徹底する

大切な人の命を守るために、一人ひとりが「今」どんな行動が必要なのかをしっかりと意識して行動できるかが感染収束への鍵。福智町、一丸となって直面するこの大危機を乗り越えていきましょう。

福智町で感染拡大が起きてしまったら
現在、日本では新型コロナウイルスの感染拡大が進行中で今後は町内でも感染者が出る可能性が十分にあるため予断を許さない状況です。仮に町で感染拡大が起きた場合に

町内に入院施設はなく、近隣の病院はすでに入院が困難なため、軽症者は自宅などでの待機の可能性が高いと思われます。
千里の道も一歩からまずは認識を改める
感染拡大を防ぐために

大切な人を守るために 一人ひとりができること

福智町立コスモス診療所・村田篤彦医師へ特別インタビュー

医療従事者の感染リスクを抑えるため、今回のインタビューは村田医師とメールのやり取りで取材を実施。



新型コロナウイルス感染症の情報発信について

福智町公式ホームページで「新型コロナウイルス感染症に関する情報」を公開しています。対策方法や福岡県内の感染状況、各種助成金・貸付事業の詳細なども確認可能。最新のお知らせもこのページで発表していく予定ですので、ぜひご活用ください。

福智町公式 HP 検索



ホームページのトップバナーをクリックすると当該ページへのアクセスが可能



助け合いの心を、百円のお弁当に詰めて

西田川子ども食堂が「100円弁当」を百円で販売

新型コロナウイルス感染症に関する報道が絶えず流れる今日、町内も施設の閉鎖や行事の中止などで暗い雰囲気にも包まれる中、人が人を思う優しさあふれるお弁当に出会いました。



「100円弁当」の誕生は、ママ友の悲痛な声から

「このお弁当が、こんなに大反響をいただき、私たちも驚いています」と頬を緩ませるのは、金田地区で「西田川子ども食堂」を運営する空閑真理代さん(金田)。創設時から毎月開いていましたが新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、3月の開催を中止に。しかし、保護者同士の集まりで「仕事が休めず、子どもの食事の準備が大変」などの不便を耳にしたことが気にかかっていた空閑さんは「この状況をどうにかできないか」と子ども食堂の運営仲間の松山敦子さん(金

田)と福島三記さん(金田)に相談を持ち掛けます。

手探りで始めた販売 SNSなどで大反響

3人による話し合いの結果、困っている子どもたちや保護者のために、100円弁当の販売を決断。初の試みだったため、



令和元年11月に設立されたボランティア団体。子どもの居場所作りに関する活動を毎月1回ほど展開中。

灯し続ける支援の火
これからも

「緊急事態宣言や外出自粛要請が出されたため、今は活動を休止していますが、何かできることはないか常に考えています」と真剣な眼差しを向ける空閑さん。「感染症の状況をうかがいながら、支援を継続していきたい」と力強く未来を見据えています。